

I 当初予算編成の考え方と予算規模

1 平成23年度（2011年度）当初予算編成の考え方

平成23年度（2011年度）当初予算は、平成23年（2011年）4月に市長の任期が満了することを踏まえ、義務的経費や継続事業に係る経費を中心とした骨格予算として編成した。

（注）なお、予算規模については、骨格予算にも関わらず平成22年度（2010年度）当初予算よりも増となっている（+168億円、+2.8%）が、これは、主に建設工事の進捗に伴う安佐南工場建替の増（+82億円）、経済情勢の悪化に伴う生活保護費の増（+79億円）、国による支給額の上積みに伴う子ども手当の増（+36億円）、子宮頸がんワクチン接種などの各種予防接種の平年度化に伴う増（+25億円）などによるものである。

<当初予算に計上した経費>

◎ 義務的経費（人件費、扶助費、公債費）

◎ 施設の管理運営費、維持補修費

◎ その他継続事業に係る経費

◎ 次の新規事業に係る経費

・緊急雇用創出事業臨時特例交付金等の国の交付金・補助金を活用するなど緊急性の高い新規事業に係る経費

・県等の他団体と協議・調整の上、連携して取り組む必要がある新規事業に係る経費

・日程等の理由により年度当初から計画的に取り組む必要がある新規事業に係る経費

(对前年度当初予算 + 2.8%)

(单位:%)

区 分	平成23年度(2011年度) 当 初 予 算 額 (A)	平成22年度(2010年度) 当 初 予 算 額 (B)	差 引 (A)-(B)	伸率
一般会計	6,084億4,098万6千円	5,916億3,734万6千円	168億 364万円	2.8
特別会計	3,648億3,392万4千円	3,626億4,590万円	21億8,802万4千円	0.6
企業会計	1,929億 681万5千円	1,930億4,537万円	▲1億3,855万5千円	▲0.1
全 会 計	1兆1,661億8,172万5千円	1兆1,473億2,861万6千円	188億5,310万9千円	1.6

- ・ 一般会計の当初予算規模は、対前年度2.8%増で、7年連続のプラス予算となった。
(H23 2.8%、H22 7.3%、H21 0.2%、H20 0.9%、H19 1.3%、H18 0.9%、H17 0.2%、H16 ▲2.6%)
- ・ 特別会計については、国民健康保険事業特別会計の増などにより、対前年度0.6%の伸びとなった。
- ・ 企業会計については、水道事業会計の減などにより、対前年度0.1%の減となった。
- ・ 全会計の予算規模は、対前年度1.6%の増で、2年連続の増加となった。
(H23 1.6%、H22 0.9%、H21 ▲2.0%、H20 ▲1.7%、H19 2.0%、H18 0.8%、H17 2.0%、H16 ▲1.3%)

(参考) 当初予算伸び率の推移

(单位:%)

区 分		H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16
広島市	一般会計	2.8	7.3	0.2	0.9	1.3	0.9	0.2	▲2.6
国	一般会計	0.1	4.2	6.6	0.2	4.0	▲3.0	0.1	0.4
	特別会計	1.2	3.3	9.4	0.7	1.3	▲1.9	▲0.7	0.1
地方財政計画		0.5	▲0.5	▲1.0	0.3	▲0.0	▲0.7	▲1.1	▲1.8

※ 平成19年度は6月補正後の通年予算額、平成17年度は当初補正後の予算額を用いて比較している。